

7年産

品種名	ピクセル	(6月上・中旬収穫)
	ファイター	(6月中・下旬、10月上～下旬収穫)
	スターラウンド	(6月下旬～7月上旬収穫)
	おはよう	(6月下旬～7月上旬、10月上～下旬収穫)
	SK9-099	(7月上旬～9月下旬収穫)
	ブライム	(6月中・下旬収穫)
ア－リーキャノン	BL-456	(9月上旬～10月中旬収穫)
		(6月上・中旬収穫)
目標粗原反収	850kg	
目標製品反収	850kg	
播 種 時 期	3月上旬 ～ 7月中旬	
定 植 時 期	4月中旬 ～ 8月上旬	
収 穫 時 期	6月上旬 ～ 10月下旬	

【施肥基準】

作 型	肥 料 名	施 用 量	要 素 量(kg/10a)		
			N	P	K
春・秋 どり	S555	100kg	15.0	15.0	15.0
夏どり	S555	70kg	10.5	10.5	10.5
春・夏 どり	DdS509	春 100kg	15.0	20.0	9.0
		夏 80kg	12.0	16.0	7.2

※夏どりでは窒素過多で腐敗が増加する恐れがありますので
減肥を検討しましょう。

【栽植密度(10a当り)】

作 型	畦 間	株 間	株 数
春どり(4月定植)	66cm	35cm	4,329株
初夏どり(5月定植)	66cm	40cm	3,788株
夏どり(6月中旬～7月中旬定植)	66cm	40cm	3,788株
秋どり(7月下旬～8月上旬定植)	66cm	35cm～40cm	4,329株～3,788株
センター苗	66cm	42cm	3,600株

※センター苗は10a当り3,600株で設定

【共計規格】

規 格	2L	L	M
c/s当り玉数	16玉	20玉	24玉
花蕾の大きさ	12.1cm～14cm	10.1cm～12cm	8.1cm～10cm

※1c/sは6kg

ブロッコリー栽培基準

作 型		2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
基本 作 業	春どり				播 種				定 植			被 覆		収 穫															
					育 苗								除草・ 病害虫防除																
	初夏どり						播 種			定 植				収 穫															
							育 苗						除草・病害虫防除																
	夏どり											播 種		育 苗			収 穫			除草・病害虫防除									
															定 植		除草・病害虫防除												
	秋どり																播 種		定 植					収 穫					
																	育 苗	除草・病害虫防除											

【農薬使用基準】

項 目	適 用 病 害 虫 名	農 薬 名	使用濃度	10a当り薬量 (水100ℓ)	適 正 使 用 基 準		RAC コード
					使 用 時 期	回 数	
殺 虫 剤	アブラムシ類・アオムシ コナガ・ハイマダラノメイガ	ガードナーフロアブル	100	セル成型育苗トレイ1箱 当り希釈液0.5ℓを 灌注する。	定植3日前 ～定植当日	1	I:4A I:5
	コナガ・アオムシ・ハスモンヨトウ	プレバゾンフロアブル5	100	セル成型育苗トレイ1箱 当り希釈液0.5ℓを 灌注する。	育苗期後半 ～定植当日	1	I:28
	アブラムシ類・コナガ	アディオソ乳剤	2,000	50ml	前日	3	
	コナガ・ハスモンヨトウ・ヨトウムシ	アクセルフロアブル	2,000	50ml	3日	5	I:3A
	コナガ・アオムシ	スピノエース顆粒水和剤	1,000	100ml	前日	2	I:22B
	コナガ・アオムシ・ヨトウムシ	スピンエース顆粒水和剤	5,000	20g	3日	3	I:5
	アオムシ・コナガ・ ハスモンヨトウ・ヨトウムシ	アフーム乳剤	1,000	100ml	3日	3	I:6
		プロフレアSC	2,000	50ml	前日	3	I:30
		フローバックDF	1,000	100g	前日(発生初期)	－	I:11A
		ディアナSC	2,500	40ml	前日	2	I:5
		カスケード乳剤	4,000	25ml	7日	2	I:15
殺 菌 剤	根こぶ病	オラクル顆粒水和剤	200～500	セル成型育苗トレイ1箱 当り希釈液0.5ℓを 灌注する。	定植前(灌注)	1	F:21
			－	300g/10a	定植前 (全面散布後土壌混 和)	2	
	黒すす病	バレード20フロアブル	100	セル成型育苗トレイ1箱 当り希釈液0.5ℓを 灌注する。	定植前日 ～定植当日	1	F:7
			2,000	50ml	前日	3	
		シグナムWDG	1,500	66g	7日	2	F:7 F:11
		ホライズンドライフロアブル	2,500	40g	前日	3	F:11 F:27
	黒すす病・菌核病	アミスター20フロアブル	2,000	50ml	前日	3	F:11
	花蕾腐敗病 軟腐病	コサイド3000	1,000	100g	－	－	F:M1
			2,000	50g	－	－	
		Zボルドー	500	200g	－	－	F:M1
		マスターピース水和剤	1,000	100g	前日	－	－
軟腐病・花蕾腐敗病		スターナ水和剤	2,000	50g	14日	2	F:31

※ガードナーフロアブル、スピノエース顆粒水和剤は成分としてスピノサドを含む。

スピノサドの総使用回数は4回以内。(但し、定植時までの処理は1回以内、散布は3回以内)

※バレード20フロアブルの総使用回数は3回以内。(但し、灌注は1回以内) ※アミスター20フロアブルについては、べと病に関しても登録あり

【土づくり・防除技術】

- pHを測り、pH6.0～6.5になるように石灰資材を必要量全面散布する。
- コナガ・アオムシ・アブラムシは発生予防を行い発生状況に応じて防除する。
- 細菌性病害(軟腐病・花蕾腐敗病)については、初夏どり～夏どりの作型(7月上旬～8月中旬)において、降雨が多く夜温が高いと発生するので、適期に防除を行う。また、発生を抑えるために圃場内の風通しが良くなるよう、中耕除草、手取り除草を徹底する。また、夏どりの作型については、株間を広めに設定する。
- 二期作を行う場合は、連作による病害(根こぶ病)の予防防除を行う。